

プレスリリース

猪熊弦一郎展

手の中の小さな言葉一紙に描いた作品から

2012 年 2 月 4(土)－ 3 月 4 日(日)

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館

展覧会に関するお問い合わせ及び資料のご請求先：

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館

公益財団法人ミモカ美術振興財団

担当＝古野華奈子

〒763-0022 香川県丸亀市浜町 80-1

tel:0877-24-7755

fax:0877-24-7766

<http://www.mimoca.org/ja/press/>

【展覧会概要】

展覧会名： 猪熊弦一郎展 手の中の小さな言葉—紙に描いた作品から
Genichiro Inokuma Words from within a Hand—Artworks on Paper
会 場： 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
会 期： 2012 年 2 月 4 日(土)－3 月 4 日(日) (30 日間) 会期中無休
開館時間： 10 時－18 時 (最終入館 17 時 30 分)
主 催： 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
観覧料金： 一般 950 円 [760 円] 大学生 650 円 [520 円] (常設展観覧料を含む)
* [] 内は前売り及び 20 名以上の団体料金
高校生以下または 18 歳未満・丸亀市内在住の 65 歳以上・各種障害者手帳お持ちの方は無料

前売券販売場所：

〔丸亀〕あーとらんどギャラリー (0877-24-0927) オークラホテル丸亀 (23-2222) おみやげ
SHOP MIU (22-2400) きままや (22-9361)

【展覧会趣旨】

小品は面白い 描く程に色んなアイデアがワイて来て楽しくなる

(猪熊弦一郎の日記より 1970 年 7 月 6 日付)

猪熊弦一郎 (1902－1993) は 70 年に及ぶ画業を通じて多くの作品を残しました。そのうちの 2 万点あまりが丸亀市猪熊弦一郎現代美術館に収蔵されており、その 9 割以上は紙に描かれています。

紙は絵を描く支持体として、カンヴァスに比べると概して身近と言えます。持ち運びや作画の準備が手軽なため、思いつきをさっと描きとめたり、新しいアイデアを次々試みたりできますし、画面が小さいので短時間で完成させることもできます。素描や下絵のように、同じモチーフや構図が繰り返し描かれることもあります。こうして描かれた絵には、画家の頭に浮かんだ当初のイメージや制作の過程、テクニックやオリジナル性の獲得への痕跡があらわれており、より構えのない率直な表現を見ることができます。描きこまれたカンヴァスの大作を一冊の本だとすれば、紙の絵一枚一枚は、画家の手の中からこぼれ出た小さな言葉のようなものかもしれません。

作品保護のため、紙の作品は長い期間の展示が出来ず、これまであまり紹介する機会がありませんでした。本展では、初公開を多数含み、本格的な画紙からスケッチブック、メモ用紙にいたるまで、大小さまざまな紙に描かれた猪熊の作品を紹介します。猪熊表現の魅力をひも解く「画家の言葉」の数々をご堪能いただけることでしょう。

【主な見どころ】

1. 膨大な制作量

鉛筆やペンでさっと描いたハガキ大の作品は、一年分だけ抜き出しても何百枚を数えます。1枚1枚は小さくても、一気に並べればその面積は相当なものです。今展では、当館展示室の壁をひとつ使い、これらを一面に張り詰めます。物量を目の当たりにしていただくことで、晩年もとどまることを知らなかった猪熊の驚くべき制作意欲をお伝えできればと思います。

2. ユニークな表現

身の回りのあらゆる紙片をコラージュしたかと思えば、シールやスタンプをあちこちにペタペタ。一見抽象画でもじっと見ていると生き物の姿が次々に見つかることもあれば、どうにも吹き出さずにはいられない絵も多々あって、紙の作品は、カンヴァス作品に比べると、より肩肘張らない自由でユニークな印象を受けます。画家の気持ちが伝播するのか、見ているうちにうきうきと楽しい気分になってきます。

3. 確かな技術

とは言え、楽しんでばかりではありません（いや、当人は、いたってまじめに描いたのかもしれませんが）。猪熊は一つのモチーフを描くために、まず「デッサン千枚」だと後輩に語っていました。上記のように思いつくままどんどん描けたのは、一方でたゆまぬ努力によって培われた確かな技術が身についていたからではないでしょうか。大量に残されたデッサンからは、画家の抜きん出た技量を存分に感じとっていただけることでしょう。

4. 表現の細かな変化をたどる

猪熊の紙作品によく見られる特徴として、サインと一緒に日付が書き込まれていることがあります。作品を日付順に見ていくと、毎日少しずつ変化する部分もあれば、翌日には全く違う絵になったり、そうかと思えばしばらく前の表現が突然戻ってきたりと、頭の中にたくさんのパターンがあって、それぞれが出入りしながら、画家の手を動かしているような印象を受けます。まるで日記を読むように、日々の表現の変化を細かくたどることができるのも、紙作品ならではの面白さです。

※出品作品例の広報用画像をご希望の際は、データにてお送りいたしますので、当館ウェブ上のプレス用ページ（<http://www.mimoca.org/ja/press/>）よりお申し込みください。なお、著作権の都合上、画像をご掲載の際は必ずクレジット等のご記載もあわせてお願い申し上げます。

【関連プログラム】

■ワークショップ エフ発見！実験絵画

いのくまさんは作品の中でどんな工夫をしているかな？いのくまさんを真似てスタンプやシールを使って紙の上で実験してみよう。

日時：2012年2月18日（土）13:00－15:00

場所：2階造形スタジオ

対象：小・中学生

定員：30名

参加料：無料

申込締切：2月1日（水）（当日消印有効）

申込方法：ワークショップ名、名前（ふりがな）、学年、〒住所、電話番号を書いて、ハガキもしくはメール（workshop@mimoca.org）で美術館ワークショップ係まで。

・応募者多数の場合は抽選し、その結果は〆切後全員にハガキでお知らせします。兄弟、お友達同士の場合、1枚のハガキもしくはメールで一緒に申込ができます。

・メールの場合、数日以内に受付完了の返信メールが届かなければご連絡ください。

・〆切後でも定員に満たない場合は受け付けますのでお問い合わせください。

■オープンスタジオ いのくまぬりえで遊ぼう！

いのくまさんの作品がぬりえになっているよ。色をつけたりシールを貼ったりして遊ぼう。

日時：2012年2月19日（日）10:00－18:00（入室は17:30まで）

場所：2階造形スタジオ

対象：子どもから大人まで

参加料：無料

申込：不要（参加希望者多数の場合、入場を制限させていただくことがあります）

■キュレーターズ・トーク

本展担当キュレーター（古野華奈子）が展示室にて展覧会の見どころをお話します。

日時：会期中の日曜日 14:00－

参加料：無料（ただし展覧会チケットが必要です）

申込：不要（美術館1階受付前にお集まりください）

〔作家略歴〕

猪熊弦一郎 / Genichiro Inokuma

- 1902年 12月14日、香川県高松市に生まれる。本名、玄一郎。
- 1921年 旧制丸亀中学校（現 香川県立丸亀高等学校）を卒業。
- 1922年 東京美術学校（現 東京藝術大学）に進学し藤島武二教室で学ぶ。写実的な作品を描く。
- 1926年 帝国美術院第7回美術展覧会に《婦人像》で初入選。以後、第10回展、第14回展で特選となるなど、1934年まで主に帝展を舞台に活躍する。
- 1936年 純粋に絵画を追求するため小磯良平らと新制作派協会（現 新制作協会）を結成。以後、発表の舞台とする。
- 1938年 フランスに遊学（1940年まで）。アンリ・マティスに学ぶほか、現地で多くの実作を見る機会を得て、主に人物像でいろいろな描きかたを試す。戦後は人物や猫などのモチーフを四角く角ばらせたり、逆に丸みをもたせて描いたり、他にも現実とは違った色を用いるなど、形や色の効果をさらに追求する。
- 1950年 第2回毎日美術賞を受賞する。三越の包装紙《華ひらく》をデザインする。イサム・ノグチが来日、親交を結ぶ。
- 1951年 上野駅中央ホール壁画《自由》を制作。
- 1955年 再度パリでの勉強を目指し、アメリカ経由でヨーロッパに出発。途中滞在したニューヨークの魅力につかまり約20年間を同地で過ごす。具象の面影は消え、直線と円を中心とした幾何学的な作品を多数制作。
- 1964年 国立近代美術館賞を受賞する。
- 1973年 日本に一時帰国中、病に倒れる。
- 1975年 ニューヨークのアトリエを引き払う。その後、冬の間をハワイで、その他の季節は東京で制作するようになる。ハワイの日光と自然に接し、鮮やかな色彩と不定形の複雑な形があふれる絵画を描く。
- 1987年 丸亀市が市制90周年事業として丸亀市立猪熊弦一郎記念美術館（仮称）の建設を発表する。
- 1988年 最愛の文子夫人を亡くす。作品に顔や動物たちが登場するようになるが、それらは猪熊にとって意味を持たない形の集まりであった。
- 1989年 丸亀市へ作品1,000点を寄贈。
- 1991年 11月23日、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館開館。
- 1992年 所有するすべての作品などを丸亀市に寄贈する趣旨の文書提出。以降、順次丸亀市猪熊弦一郎現代美術館に搬入。
- 1993年 第34回毎日芸術賞を受賞する。5月17日逝去、90歳。

〔展覧会等のお知らせ〕

■同時開催 常設展

猪熊弦一郎展

会期：2012年2月4日（土）－3月4日（日） 会期中無休

■次回開催 特別展

塩田千春 私たちの行方

会期：2012年3月18日（日）－7月1日（日） 会期中無休